

平成29年度 岡山県立玉島商業高等学校学校経営計画書

本校のミッション（使命、存在意義）

H29.4.6

「誠実・勤勉・礼儀」の校訓と「質実剛健」の校是の下、ビジネス教育をとおして社会に貢献できる有為な人材を育成する。

- (1) 【自ら行動できる人材】健康な心身に豊かな人間性と高い倫理観を備え、自ら思考・判断した上で、自らの意思でTPOをわきまえて周囲に配慮した発言と行動ができる人材を育成する。
- (2) 【地域に貢献する人材】グローバルな視野を持った上で、玉島を中心とする備中地域の社会や産業を支えることのできる人材を育成する。

内外の環境分析（玉島の強みと弱み）

	内部環境	外部環境
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体が落ち着いていて、生徒指導上の問題は少ない。 ・ICT 機器の利活用には抵抗感が少ない教員集団である。 ・備中地域に居住する教職員が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古くから栄えた玉島を再生しようという玉島地区の胎動が感じられるようになってきた。 ・大きな工業地帯に隣接しているため、卒業後も地元で活躍する生徒が多い。 ・玉島テレビによる情報発信が盛んである。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本校での生活への充実感、指導への満足感に欠ける生徒が少なくない。 ・教職員、生徒、保護者のいずれも、安易に現状に満足してしまう傾向がある。 ・自己肯定感に欠け、学習意欲の乏しい生徒が少なくない。 ・基本的な生活習慣が身につけていない生徒がいる。 ・保護者に学校の情報がきちんと伝わっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玉島地区に居住しながらも、倉敷地区や岡山地区の高校へ流出する傾向が続いている。 ・近隣の中学校は生徒数減少傾向であり、特に浅口市以西の備西地区の中学校の生徒数は大きく減少し続ける見込みである。 ・学校に近接するかつて栄えた商店街が閑散とし、地域の勢いがなくなっている。 ・世間での普通科志向が強くなり、専門高校の存在意義が問われるようになってきている。

ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

目指す生徒像	目指す学校の将来像(2026年の創立100周年に向けて)
「嘘をつかない」「怠けない」「やりっ放しにしない」「わがままをしない」「人に迷惑をかけない」「爽やかにあいさつする」「時間を守る」「約束を守る」「諦めずに努力する」 生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・玉島地区の中学校からの入学者が全生徒の半数以上で、ほとんどの卒業生が最終的に備中地区で就業している。 ・10名程度が国公立大学や難関私立大学へ進学している。 ・商業関係の全国コンテストや海外交流事業へ参加している。 ・部活動では、運動部、文化部に関係なく、いずれかの部が全国大会に出場している。 ・全生徒が、いずれかの得意分野で全商検定1級に合格して卒業する。

具体的な学校経営目標・計画（H29重点目標）

- (1) 生徒が理解しやすく、学習することに喜びを感じることができるような授業に進化させて、生徒の学力三要素を伸長させる。併せて、「スマホを活用した家庭学習」の研究を進める。
- (2) 身だしなみ、礼儀、マナーの指導を充実させるとともに、「玉翔夢手帳」を有効活用して基本的な生活習慣の確立を図る。
- (3) 特別活動（HR活動、生徒会活動、学校行事）及び部活動に主体的に取り組みせ、生徒の自主性や社会性を高めるとともに、積極的に国際交流事業に参加させ、グローバルな視点を養う。
- (4) 組織的かつ体系的な進路指導体制を確立し、生徒や保護者が希望する進路を実現する。
- (5) いじめの未然防止を図るとともに、教育相談機能を充実させ、個々の生徒に対する支援体制を確立し、生徒の自己肯定感高揚を図る。
- (6) 保護者への情報発信を積極的に行って本校への理解を深めてもらうとともに、本校教育への協力を得る。併せて、生徒募集に係る広報活動を充実させ、本校を第一志望とする中学生を増加させる。
- (7) チームとして教職員の力が発揮されるよう、課長・主任・班長というミドルリーダーを中心に、組織的で機動的な協力体制が機能する集団づくりを行う。